

minato

2025.01 No. **79**

新潟臨港病院・新潟万代病院 | 地域医療福祉連携機関向け広報誌「みなど」



Take Free (ご自由にお持ちください)

私たち新潟臨港保健会は、医療を通じて地域の皆様が安心して安全に暮らせる社会づくりに貢献します

社会医療法人 新潟臨港保健会

地域包括ケアシステム
インタビュー特集

第3弾

地域新年も、共に。

2024年は新潟臨港病院、新潟万代病院の院長が交代し、広報誌もリニューアルするなど節目の年となりました。新年初月号は、湊理事長、堂前副理事長が新年の抱負として、私たち新潟臨港保健会が目指す「地域のための病院」について語ります。

——新年を迎え、お二人からごあいさつをいただきたいと思います。2024年はどのような年でしたか？

湊 コロナ感染症が落ち着き、人の往来が増えたのはいいことだと思います。一方で、医師の働き方改革、診療報酬の改定など医療現場の変化もありました。新潟臨港保健会としては、新院長が就任し、経営・人事の刷新を図った年でもありました。新潟臨港病院では、11月に病院祭を開催し、地域の方々がたくさんお集まりいただけたのがうれしかったですね。

堂前 新潟万代病院に関しては、2024年は、新潟通信病院から引き継いで10年目の年となりました。規模の小さな病院ですが、特徴を打ち出し、新潟臨港病院の助けも借りて独り立ちできるようになってきた一年だったと思います。また、人工関節の手術用ロボットを導入し、年間の手術数が県内トップの300件を超えたのも大きな出来事でした。2023年末にスタートした在宅医療も、少しずつですが軌道に乗っています。病院がジャンプ



社会医療法人
新潟臨港保健会 理事長

湊 泉

Profile

1980年新潟大学医学部卒業。整形外科医。1995年より新潟臨港病院。2011年から13年にわたり院長を務め、地域のための病院作りに邁進する。昨年7月に病院長を交代し、新潟臨港保健会の理事長に就任する

アップしていくために、2024年は助走を完了した“ホップ”の年だったと思います。

——2025年の抱負や意気込みを聞かせてください。

湊 新潟臨港病院と新潟万代病院、2つの病院が今まで以上に力を合わせて、ベッドの融通や診療科の協力体制などを高めて連携していきたいと思います。また、職員が病院に愛着を持てるような病院の文化を作っていきたいですね。今年は新たな挑戦もあります。新潟臨港保健会ではへき地医療に取り組んでいますが、2025年は魚沼市の守門地域でも医療の提供を開始する予定です。医療が届きにくい地域にこれからも医療を提供する体制を整えていきたいと思います。

堂前 新潟万代病院は「一般病棟」と「地域包括病棟病床」がありましたが、2025年からは全て「地域包括医療病棟」となります。地域包括医療病棟は、主に急性期の患者さんの新規入院から在宅復帰までを担います。地域包括医療病棟に転換するには厳格な基準があり、昨年10、11、12月は職員・病院が一丸となって行動し、基準をクリアすることができました。収益面の期待も大きいので、地域の方には「自分たちの街に病院がある」という安心感をお届けできると思いますし、病院としても“ステップ”の年にしたいですね。



——個人的な抱負はありますか？

湊 難しい質問ですね(笑)。やはり病院のことを考えてしまいます。病診連携をより緊密にしたいですし、近隣住民の方にも病院のことを知っていただき、災害時などにも頼りにしてほしいと思います。まだまだ走り続け、元気に働きたいと思います。

堂前 2025年も元気に仕事をするために、体力作りを頑張ろうと思います。コロナ禍前に通っていたジムを再開しようかな(笑)。職員にも元気に楽しく仕事をもらえるよう、出勤するのが楽しいと思える病院、嫌な思いをせず安心して働ける病院を作っていきたいです。

——ありがとうございます。最後に、「minato」の読者にメッセージをお願いします。

湊 病院は、病気のことで頼っていただくのはもちろん、病院祭などのイベントも開催しています。ぜひ地域の方に近しく思っただけいたら幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

堂前 地域密着型の病院として患者さんを受け入れていますので、ぜひ地域の皆さんに利用していただきたいです。特に股関節や糖尿病に関しては、多くの診療所の先生が新潟万代病院を紹介してくださるので、さらに専門性を高めて治療にあたりたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

社会医療法人
新潟臨港保健会 副理事長

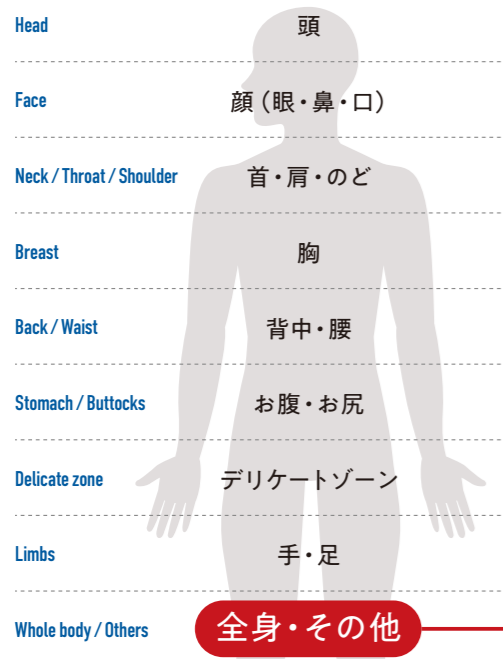
堂前 洋一郎

Profile

1977年新潟大学医学部卒業。整形外科医。新潟県医師会長。県立新発田病院の救命救急センター、院長などを経て新潟万代病院院長。昨年7月より新潟臨港保健会の副理事長に就任し、病院のさらなる発展を目指す

Dr's memo

【ドクターズメモ】



とうによびょう

糖尿病 (diabetes mellitus)



新潟臨港病院、新潟万代病院のホームページには『症状から診療科を選ぶ』ことができる専用ページがあります。各診療科の特徴、外来診療予定表、医師紹介が掲載されていますのでぜひご覧ください。

新潟
臨港病院新潟
万代病院

糖尿病などの生活習慣病と
内分泌疾患が専門です。
皆様の生活環境に配慮し、
その人に適した継続できる治療を
選択していきます。

新潟万代病院 診療部長

鈴木 亜希子

すずき あきこ

内分泌代謝内科

所属学会・資格・認定等

日本糖尿病学会専門医/
日本内分泌学会分沁学会専門医

糖尿病 (Diabetes Mellitus) とは？

糖尿病とは

糖尿病は、血液中のブドウ糖の濃度(血糖値)が慢性的に高くなる病気です。すい臓から分泌されるインスリンというホルモンの量の不足(分泌不全)や、作られたインスリンが十分に作用しないこと(インスリン抵抗性)で起こります。

糖尿病には、1型と2型がありますが、一般的な糖尿病は2型糖尿病で10人に9人以上はこのタイプです。ここでは2型糖尿病についてのお話となります。

糖尿病の要因はさまざまですが、食生活などの環境因子と体質(遺伝)の組み合わせで起こります。環境因子は、肥満・食べ過ぎ・運動不足・ストレスなどで、特に肥満の方や、20歳頃の体重から10kg以上増加している方などは、糖尿病発症リスクは高くなります。しかし体質として日本人は遺伝的にインスリン分泌不全の方

が多いので、肥満がなくても糖尿病を発症することが多い人種です。「糖尿病で治療中+糖尿病が強く疑われる人」の割合は、成人男性の18.1%、成人女性の9.1%と高く、よくある病気となっています。

血糖値が高い状態が持続すると

慢性的な高血糖は、全身の血管にダメージを与え、全身の臓器にさまざまな合併症を引きおこします。太い血管へのダメージによる脳梗塞・心筋梗塞、細い血管へのダメージによる網膜症(視力低下)・腎障害・神経障害などです。他にも認知症・骨粗鬆症・サルコペニアのリスクを増加させたり、免疫力低下による感染症の増加など、万病のもととなります。

ただし、糖尿病を発症していても血糖

値を良好に管理することで、合併症の発症予防・進行予防ができますので、糖尿病を放置しない・きちんと向き合うことが大切です。

糖尿病の診断は

よほどの高血糖ではない限り、血糖値が高くても自分ではわかりません。健康診断での採血や、たまたま他の病気で採血して判明することがほとんどです。血糖値とともに、HbA1c(ヘモグロビン・エー・ワン・シー)というマーカーが重要で、これは過去1-2か月の平均血糖を反映しています。HbA1cが5.7%以上だと糖尿病予備軍の疑いあり、HbA1c6.5%以上だとすでに糖尿病を発症している可能性が高い、と大まかな基準となります。

治療の目標値としてもHbA1cを使用します。一般的な治療目標値は、HbA1c7.0%

未満ですが、年齢や合併症の程度・治療内容によって、治療目標値は個人個人で違いますので、ご自身の治療目標値をきちんと確認しておくことが重要です。

糖尿病の治療

治療は、生活習慣の見直し、食事療法、運動療法が基本となります。肥満の方は、ある程度体重を減らすことが大切です。肥満がない方も、炭水化物の過剰摂取や、間食・夜食など、血糖値の上がりやすい食生活は見直しましょう。

ウォーキングなどの有酸素運動、レジスタンス運動など日常的に体を動かすことは、インスリン抵抗性を改善して、血糖低下作用が期待できます。

必要な方には、薬物療法も行います。薬には、内服薬と注射薬があり、個人の状態(肥満の有無、インスリン分泌量、

生活スタイルなど)に合わせて、薬を選びます。すい臓に働いてインスリン分泌を促す薬、肝臓や筋肉に働いてインスリンの効きをよくする薬、尿に糖をだすことで血糖値を下げる薬、インスリンの注射剤など、作用する機序や臓器が違うさまざまな薬があり、1剤のみで血糖値が下がらない場合は数種類の薬を組み合わせていきます。

その中で一番新しい薬である「チルゼパチド」を紹介します。これはインクレチンという消化管ホルモンであるGIPとGLPIを配合したGIP/GLPI受容体作動薬で、週1回の注射製剤です。インクレチンは、食べ物が腸を通過する際に小腸から分泌されるホルモンで、すい臓でのインスリン分泌促進作用があり、これにより食後血糖が低下します。その他に、胃腸の動きを抑制する作用や、視床下部の満腹中枢に働き食欲を抑制する作用もあり、自然と食事がセーブされ体重減少作用を

発揮します。肥満合併の糖尿病症例により適応となっています。

最後に

糖尿病治療の目標は、血糖値を良好に維持して、合併症の発症や進展を阻止して、「糖尿病がない人と変わらない日常生活の質と寿命を確保すること」です。外来で、85歳の男性患者さんが「糖尿病になってもう30年だけど、体は何ともないし元気なんだよな。ほんとに病気なのかな。」とお話されていました。それは、治療を継続したことで糖尿病治療がうまくいっている結果です。

糖尿病疑いのある方、糖尿病の診断後未治療の方など、無症状だからと放置せず、定期的な検査と治療を受けましょう。

臨床研修医のご紹介 New member!



ふくだ まさほ
福田 正穂
[新潟臨港病院]

2024年12月から2025年3月まで研修させていただきこととなりました。内科を中心に地域医療に携わっていただけたいと思います。わからないことも多いですが、気楽にお声がけいただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。



とみた ゆうたろう
富田 悠太郎
[新潟臨港病院]

今年度12月から3月いっぱいまで、地域医療研修でお世話になります。地元新潟で、地域の患者さんに寄り添った診療を目指して頑張ります。よろしくお願いいたします。

第2回 新潟臨港病院祭を開催しました

2024年11月2日(土)に第2回新潟臨港病院祭を開催しました。

雨天の影響で中止や縮小した内容もありましたが、お仕事体験を中心に多くの地域の方々にお越しいただきました。当院のお仕事や、医療に対し広く関心を持っていただく一つのきっかけになれば幸いです。

これからも感謝の気持ちを忘れず、地域に貢献し信頼される病院を目指していきます。

ご来場くださった皆様、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



病院のお仕事をウォッチング!! 職場紹介シリーズ vol.2



新潟臨港病院 看護部



新潟臨港病院は日本海に沈む夕日、飯豊の山々などが展望でき、新潟の季節の移り変わりを感じることができる環境にあり、長年地域の皆さまの病院として医療を提供しております。

地域の人たちが住み慣れた環境で安心して暮らし続けるために、さまざまな職種と連携し看護を提供しています。「利用される方々の人間性を尊重し、安全で質の高い看護を提供します」を理念に日々研鑽し、認定看護師をはじめとする専門的知識や技術を持ったスペシャリストや経験豊富なジェネラリストを育成し、お互いを思い合いながら、気持ち良く働き続けることができるよう取り組んでいます。



新潟万代病院 看護部



新潟万代病院では、地域包括医療病棟へ整形外科および内科の患者様を受け入れ、患者様の療養生活を支える質の高い看護を提供しています。整形外科は北信越でもトップクラスの手術件数を誇る人工股関節手術を受ける患者様を中心に、内科は内分泌・消化器疾患患者様への看護を行っています。

地域包括医療病棟では患者様が安心して療養・リハビリに取り組めるよう支援し、「時々入院、ほぼ在宅」を目指しています。退院後の在宅療養を見据え、入院時より退院支援看護師やソーシャルワーカーを中心に他職種と連携して退院後の生活サポートを行い、在宅復帰に不安のある患者様には併設の訪問看護ステーションと連携して、退院後も安心して暮らせるよう支援体制を整えています。

看護部の理念である「専門的な知識・技術にあたたかい心を添えて、良質な看護サービスを提供します。」を実践しながら、地域の皆様が安心して医療を受けていただけるよう、看護師一丸となり力を尽くしてまいります。

連携 登録医の 紹介

地域を支える
医療・福祉施設を
ご紹介します

私がお話を聞きました！

新潟
臨港病院



医療連携室
看護師 田村 郁子

新潟
万代病院



地域連携室
室長 佐藤 亜紀絵

CLINIC No.
05

きんとう整形外科 クリニック

整形外科

院長 金藤 直樹



当院は平成19年に開業し、患者様一人ひとりの健康上の悩みや不安に真摯に向き合い、納得いただいたうえで治療を受けていただけるよう、わかりやすく丁寧な説明を心がけております。

クリニックのコンセプトは下町の絵本館です。暖かみのある木造の建物の中に入るとバリアフリーのフローリングが広がっており、待合室には葉祥明、アンドレ・ダーハンなど国内外の絵本作家のリトグラフが並んでいます。四季を感じ、静かに時間が流れる癒しの空間になればと思っています。

地域に密着した「かかりつけ医」として、皆さまの健康をお守りするべく全力を尽くしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



〒950-0036
新潟県新潟市東区空港西1-19-5
TEL: 025-272-8800
FAX: 025-272-8803
診療時間… 9:00~12:30
15:00~18:00
休診日… 水曜日・土曜日午後、
日曜・祝日

新潟臨港病院インスタグラム



CLINIC No.
06

村山内科

内科

院長 村山 悟



当院は昭和49年に開院し、地域の皆さまのかかりつけ医として診療を行ってまいりました。開院当初より入居していたビルの建て替えに伴い、令和元年7月より新潟駅から徒歩約9分の現在の場所へ移転いたしました。

診療は糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病を中心に、消化器疾患、呼吸器疾患など幅広い分野に対応しています。お仕事帰りに立ち寄られる方も多く、様々な年代の患者様から受診いただいております。

新潟市特定健康診査、新潟市各種がん検診、各種健康診断、インフルエンザ予防接種も行っておりますので、気兼ねなくご相談ください。これからも皆さまに安心していただける医療の場を提供していきたいと思っております。



950-0088
新潟市中央区万代1丁目1番32号
プリオール万代ビル4F
TEL: 025-243-0088
FAX: 025-245-0288
診療時間… 9:00~13:00
15:00~18:00
休診日… 水曜日、木曜日午後、
第1・第3土曜日、
日曜日・祝祭日

新潟万代病院エックス



株式会社ダイチク

所在地 : 〒950-1151 新潟市中央区湖南24-2
電話番号 : 025-288-0228 (代表)

オフィシャルウェブサイト www.ainj.co.jp



公式アプリ「いつでもアイン薬局」から、
処方箋を送信できます！
今すぐアプリをダウンロード！

Google Play、
App Storeで

いつでもアイン薬局 を検索



Android OS
バージョン6.0以上



iOS
バージョン12.0以上

